



JASDAQ

平成 28 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社市進ホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 下屋 俊裕
(コード番号 4645 東証 JASDAQ)
問合せ先 常務取締役統括本部本部長 竹内 厚
電話 047 (335) 2840

平成 28 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 10 日に公表しました平成 28 年 2 月期通期業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

平成 28 年 2 月期通期業績予想数値の修正（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,161	227	213	103	10 円 07 銭
今回修正予想 (B)	16,321	649	623	242	23 円 52 銭
増減額 (B - A)	159	422	410	139	-
増減率 (%)	1.0	186.1	192.7	135.6	-
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	16,771	315	282	△1,053	△105 円 61 銭

・修正の理由

平成 28 年 2 月期につきましては、千葉県・東京都を中心に学習塾を営業しております株式会社市進を首都圏全域展開から千葉県・東京都を中心にドミナントを再編成した成果があらわれ、採算が計画以上に改善いたしました。また、個別学習塾であります個太郎塾を営業しております株式会社個学舎も受講科目数の増加などに取組み、採算の改善を図り、利益率が計画以上に向上いたしました。

また、茨城県内に特化し学習塾を営業しております株式会社茨進は、好調な入試合格実績を背景にマーケティング戦略の成功と拠点リニューアルによる設備面の充実などにより、生徒数が計画以上に推移し、売上高が伸びました。さらに、全国の塾・教育機関向けの映像を販売しております株式会社ウイングネットは、コンテンツ内容の品質と品揃えを評価されて、加盟校数・受講生徒数が計画を大きく上回る結果となったことなども要因であります。

全体的な経費面では、ここ数年の取組みにより、不採算拠点の撤退、人員および間接部門経費の適正化、経費構造の転換を図ったことにより、継続的に営業利益・経常利益の出せる体制が整ってきたといえます。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

以 上